

宇宙と歴史の Hot line 南種子町の国文祭

ひつとべ!
かごしま国文祭
第30回 国民文化祭
平成27年10月31日(土)~11月15日(日)

種子島歌い継がれた 民謡と踊りの祭典

響け

種子島の歌と踊り

黒潮に乗って



11月2日(月) 18:30~21:00

農業者トレーニングセンター

11月3日(火祝) 10:30~13:10

総合グラウンド(前之峯)

【主催】文化庁／鹿児島県／南種子町／鹿児島県教育委員会／南種子町教育委員会
第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会／第30回国民文化祭南種子町実行委員会

【会場周辺MAP】



【無料シャトルバス時刻表】

発車：本町バス停留所

経由ルート

本町バス停留所～中種子郵便局～
種子島空港～西之表体育館～西之表港

11月2日 21:30 発

11月3日 15:00 発



①

11/2(月) 会場

開演時間：18時30分～

農業者トレーニングセンター

②

11/3(火) 会場

開演時間：10時30分～

**総合グラウンド
(南種子町営陸上競技場)**

同日開催

国民文化祭「種子島歌い継がれた民謡と踊りの祭典」 南種子町ふるさと祭 プログラム

11月2日(月)

13:00～17:00 展示発表 【中央公民館屋内運動場】

国民文化祭 18:30～21:00 「種子島歌い継がれた民謡と踊りの祭典」
【農業者トレーニングセンター】

11月3日(火)

9:00～10:30 式典 【南種子町福祉センター】

9:00～12:00 健康相談 【中央公民館第1会議室】

9:00～15:00 展示発表 【中央公民館屋内運動場】

10:30～ 農林水産物等即売 【 総合グラウンド
(南種子町営陸上競技場) 】

国民文化祭 10:30～13:10 「種子島歌い継がれた民謡と踊りの祭典」
【 総合グラウンド
(南種子町営陸上競技場) 】

13:10～15:30 郷土芸能 【 総合グラウンド
(南種子町営陸上競技場) 】

郷土芸能終了後お楽しみ抽選会
【 総合グラウンド
(南種子町営陸上競技場) 】

ご挨拶



第30回国民文化祭
鹿児島県実行委員会会長
鹿児島県知事
伊藤 祐一郎

第30回国民文化祭・かごしま2015に、ようこそお越しいただきました。全国から多くの出演者や観客の皆様をお迎えて開催できますことは大変喜ばしいことであり、心から歓迎いたします。

鹿児島県は、南北約600キロメートルにわたる広大な県土に、世界自然遺産の屋久島をはじめ、奄美などの特色ある島々、桜島や霧島等の火山、変化に富んだ長い海岸線など、多様で豊かな自然を有しています。こうした環境のもと、古くから黒潮の流れに乗って、南方との様々な交流がなされ、鉄砲伝来やキリスト教の布教といった、遠くヨーロッパの文化にも触れてきました。

幕末の19世紀後半には、反射炉や機械工場の建設など産業の近代化を進めた集成館事業や英国留学生派遣などを通じ、積極的に西洋技術・文化を取り入れており、特に集成館事業については、本年7月、日本の重工業分野における急速な産業化の道程を証言する「明治日本の産業革命遺産」として、世界文化遺産に登録され、産業国家日本の礎を築いた先人たちの偉業が改めて評価されたところです。

いわゆる大和文化圏と琉球文化圏との接点である鹿児島県には、個性豊かな祭礼行事や民俗芸能、多様な生活文化、伝統的工芸品が受け継がれており、現在においても、今やアジアを代表する音楽祭として高い評価を得ている霧島国際音楽祭をはじめ、中国、韓国、香港、シンガポール等との文化芸術交流など、海外との長年にわたる幅広い交流が行われています。

このような特色を有する鹿児島県で、「本物。鹿児島県～文化維新は黒潮に乗って～」をテーマに開催する国民文化祭は、本格的に離島をも舞台とする初の大会であり、開会式では、メイン会場の鹿児島市と、サテライト会場の種子島の西之表市、奄美大島の奄美市をライブ中継で結び、3つの会場で1200人を超える出演者により、広大な県土のスケール感と一体感を表現します。

また、個性ある歴史や食の宝庫鹿児島ならではの食文化、離島の魅力などを発信する155もの多彩な事業が、県内43全ての市町村で繰り広げられます。

参加される皆様には、日頃の活動の成果を十分発揮されまるとともに、多くの方々との出会いや交流の輪を広げていただき、第30回の節目にふさわしい記憶に残る大会となりますようお願いしております。

終わりに、本県での国民文化祭の開催に当たり、多大な御支援と御協力をいただきました多くの皆様へ心から感謝を申し上げます。



ご挨拶

第30回国文化祭・かごしま2015、南種子自主事業「種子島 歌い継がれた民謡と踊りの祭典」によるご挨拶をいただきました。

南種子町は鹿児島県の離島、種子島の南端に位置します。南種子町は黒潮を介して様々な文化と交流し、多彩で豊かな文化を育んできました。国の重要文化財広田遺跡出土品である貝製品の多くは、奄美・沖縄諸島で採れる貝で製作されています。1543年(天文12年)には、門倉岬に異国船が漂着し、日本に始めて「鉄砲」が伝えられ、平成25年度県指定文化財になった「南種子町のインギー鶏」は1894年(明治27年)、南種子町前の浜海岸に漂着した「ドラメルタン号」乗組員への手厚いおもてなしの礼にと贈られた鶏です。

種子島には、多くの民謡、郷土芸能が伝承されておりますが、中世以降、大阪や京都、沖縄など様々な地域との黒潮を介した交流の中で伝えられたものです。中には、「バック舞」など、種子島独自の芸能に発展させたものも数多くあります。「種子島 歌い継がれた民謡と踊りの祭典」では、そうした民謡や郷土芸能に加え、宮崎県高千穂民謡保存会のみなさまに「刈干切唄」を、熊本県荒尾豊洲会のみなさまに「炭坑節」を披露いただきます。

また、岡山県総社市、長崎県対馬市、南種子町荃永は日本で3箇所のみといわれている古代赤米の伝承地で、町トンミー大使相川七瀬さんが架け橋となり、2014年3月に対馬市で「赤米伝統文化交流協定」を締結し、10月には「赤米サミット in 荃永」をたねがしま赤米館で開催、今年度は総社市で「赤米サミット2015」を開催し赤米文化の「日本遺産」認定を目指す共同宣言を行いました。そうした経緯もあり、今回、相川七瀬さん、岡山県総社市総社社中のみなさまにご出演いただくこととなりました。

参加される皆様には、日頃の活動の成果を十分発揮されますとともに、当イベントでの交流を通してさらなる発展をなされることを祈念いたします。来場者の皆様におきましては、同日開催の南種子町ふるさと祭で特産品の試食・販売も行いますので、さまざまな唄と踊りをお楽しみいただくとともに、本町のおいしい郷土料理と温かいおもてなしもぜひ堪能いただきたいと思います。

最後になりましたが、開催にあたり多くの方々にご支援、ご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。



第30回国文化祭
南種子町実行委員会会長
南種子町長
名越 修



総合司会

タレント（MBC南日本放送） 南種子町トンミー大使

MBCタレント「柴ちゃん」としておなじみ。楽しいグルメレポートや体験レポートのほか、地域おこし応援隊として各地域の情報をお届けしています。

『地域が元気になるような品物やアイデアに関心があり、南種子町がさらに元気な町になるように、お手伝いをしていきたいと思っています。』

ガーデニングプランナー
グリーンツーリズムインストラクター



柴 さとみ

☆主なテレビ番組☆

ズバット！鹿児島
ふるさとかごしま

どーんと鹿児島
市民のひろば

☆主なラジオ番組☆

RadioBurn
柴さとみのさわやかグットモーニング



プログラム

11月2日(月) 会場：農業者トレーニングセンター

- | | | |
|-------|-------------|-----------------|
| 18:30 | めでた節 | 西海地区公民館 |
| 18:40 | 西目出し | 平山地区公民館 |
| 18:50 | 開会のあいさつ | |
| 18:55 | こうらい節 他 | 南種子町立平山小学校 |
| 19:05 | お田植え唄 | 下中地区公民館 |
| 19:15 | 中西目の福祭文 他 | 南種子町立西野小学校 |
| 19:25 | 島間小唄 | 島間地区公民館 |
| 19:35 | 炭坑節・浪曲炭坑節 | 日本民謡研究会熊本県荒尾豊洲会 |
| 19:45 | 樟脳節 | 長谷地区公民館 |
| 19:55 | つんたん拍子 | 西之地区公民館 |
| 20:05 | ガニ舞 | 平山郷土文化保存会 |
| 20:15 | 草切節 | 上中地区公民館 |
| 20:25 | パッカー舞 | 島間伝統文化保存会 |
| 20:35 | 宝満神社御田植え唄 他 | 荃永地区公民館 |
| 20:45 | 正調刈干切唄 | 高千穂民謡保存会 |
| 20:55 | 閉会のあいさつ | |

西海地区は、西海岸に面し世界遺産屋久島を海の向こうに臨む、風光明媚な集落です。

集落が4つあり、国民文化祭では牛野集落の青壮年部のメンバーが出演します。



演目のキーワード 『 祝いもうそう 』

めでた節 (歌詞)

- (一) めでためでたの若松さまよ
えだもさかゆる葉もしげる
- (二) なおもめでたの思うことかのうて
すえは鶴亀五葉の松
- (三) 峰の小松に雛鶴が
谷の巖に亀舞い遊ぶ

演目の概要

結婚式や落成式、その他集落の行事の際など、祭礼や祝儀の折に唄われます。

「めでた節」は各地区、各集落で伝承されていましたが、現在は牛野、下立石集落で歌い継がれています。歌詞はほとんど変わりませんが、旋律がすこしずつ異なります。

平山地区公民館

西目出し

平山地区は、座敷舞や蚤舞などの郷土芸能、民謡を受け継いでいる地域です。出演に向け、郷土文化の伝承として地域の若者が昨年度から練習し、今日に至ります。まだまだ完全には修得したとはいえませんが、精一杯がんばりますので、どうぞご覧ください。



演目のキーワード 『 祝 賀 』

西目出し (歌詞)

- (一) ヨイヨイ参ろかんはアヨイヨイ踊りゃ参ろかな
サイエーこのまことにナ若松ヨサー
枝もさかゆる葉もしげるハイリヤハイリヤ
踊りはハイリヤハイリヤサーサイエー
- (二) 西目出しかよ山川出しか
沖の小島に帆が見えた
- (三) 鹿の巻き筆たが読みそめて
今は恋路の文を書く
- (四) 十三鐘の春姫は 鹿を殺せしその罪ゆえに
今は涙で鐘つきしおる
おじゃどけ行く日の暮れに
どけもまからぬそこへんにまかる
花の振り袖引き回す
(コヤモカライモノヨウメシヤ
コトモガイヤガルモットモジャソレソレ)
- 島間の町の清四郎は
出船なかばに紺足袋はいて
手には傘持ちうらうらと
(キヨシローモ ビョーキノコナレバ

ビョーキナカナワンコッチャグナ ソーレソーレ)

荻永村の庄屋どんは

普請半ばにさし下駄ふんで

手には傘持ち杖つき回す

(ショーヤモ ビョーキノコナレバ

ビョーキナカナワンコッチャグナ ソーレソーレ)

- (五) オガを振りかたげてヤスリよ手に持ち
行こうよさ行こうやオガ山に (ヤッリヤッリ)

- (六) ショング踊りをはじむるときは
オイジョーも出て来いバジョーも連れて
(ヨイソレヨイソレ ヨイソレナー)
オイジョーを連れる時や 連れようがござる
頭なでつけ ぼしよ着せて
バジョーを連れる時や 連れようがござる
白髪なでつけ腰たたく
ショングバジョーたちや焼きもち好きよ
晩に九つ朝七つ

演目の概要

平山で正月や祝いの座で、めでた節やゆくいとしがすみしばらくした頃を見計らって、ニサー、ヨメジョウ (青年男女) が外の戸壁をとんとんとたたきます。そして「ヨイヨイ参ろうかあ・・・」と歌いながら中に入り踊ります。

わたしたち平山小学校は、男子14名、女子9名、計23名の学校です。校区には、千座の岩屋や恵美之江展望公園、広田遺跡などの名所がたくさんあります。また、種子島民謡や民俗芸能などの伝統芸能が、数多く歌い継がれ、踊り継がれています。

豊かな自然環境と歴史的名所、文化財に恵まれた風土のもと、平山小の子供達は、元気いっぱい・やる気いっぱいに、楽しく学校生活を送っています。



演目のキーワード 『 伝統芸能 』

こうらい節 (歌詞 / 一部を抜粋)

今度なあはじめて 馴染みを持たば
 白かなあ木綿を 三尺貰うて
 何になあ染みよかと 染屋にきけば
 一でなあカンコ花 二で糸柳
 三でなあ下がりふじ 四で獅子牡丹
 五つなあ岩屋のガンギのつつじ
 六つなあ紫桔梗の花よ 七つなあ南天花
 八つ八重桜 九つなあ小菊の白菊の花
 十でなあとどむる コウラヨ 百合の花よ
 モウ ソレモソウジャヨ ホンニソウカヨ

ようかい (歌詞 / 一部を抜粋)

ようかいうかい ようかいう
 この子がいっとき 寝たならば
 チェッチャーもアッパーも 息しようもの
 どんがチェッチャーは どれ行たか
 あれば屋久島 鎌売りに
 鎌は売れぬか まだわせぬ
 一年たっても まだわせぬ
 二年たっても まだわせぬ
 三年と三月に 杖が来て
 状の上書きよ 呼んで聞かしよ
 一で香箱 二で鏡
 三でさつまの 板屋買うて
 板屋ぶきして 門立てて
 門のくりぐり 杉よ植えて
 杉の葉ぶさに 香をもりて
 香の煙は 西東
 西や東に 鳴く鳥は
 雁かスイショか オシの鳥か
 ようかいうかい ようかいう

演目の概要

種子島で昔から歌われている子守唄です。「ようかい」は子どもをあやす時の言葉です。出稼ぎ(屋久島に鎌売り)に行ったきり、何年も戻ってこない父親を待ちながら、子どもをあやしている唄です。「こうらい節」も種子島に古くから伝わる唄です。今日は、ふるさとのよさを感じながら、心を込めて歌います。

下中地区公民館

お田植え唄

雨の日も風の日も休みの日も毎日欠かさず、に県指定天然記念物インギー鶏のお世話をしている花峰小学校10名の子どもたち。「強く かしく 心豊かに」を校訓に元気いっぱい楽しく過ごしています。

お田植え唄は、下中の郷土芸能の伝承者である岩坪順さんから教えていただき、これまで練習を積み重ねてきました。

今日は、6年生の宮岡竜之介さんが太鼓でリードしながら、みんなで歌い繋ぎます。



演目のキーワード 『 世代から世代へ 』

お田植え唄 (歌詞)

田作り娘よ若い娘 田を作って見せろるか
かみをなずる若い娘 なしずればの若い娘
しながよければ若い娘 しなもしなによりそうろ
吉野の山のしな三ぞう 吉野の山のしな三ぞう
ここはなしかあつぼ田か ええ作らじのつぼ田よ
つぼの神よつぼの神 助けてたもれつぼ田よ
つぼに入ったばじょう そこから年寄りそがき出せ
いっちゅう田の水口で ウッチュウなしてのもうよ
山の下のマツアネ 月のほしが光るよう
月でも星でもないけれど 若いとき光るよう

早う植えて田植えて 田主どんと寝ていこう
どうでも田主と寝るときは むすこの田主と寝ていこう
どこを枕に寝ていこう あぜを枕に寝ていこう
日さえ来るれば田主が 目つき鼻つきおそろしか
田限りというときは ふんばいふんばり作れよ
苗限りというときは ふみこみおしこみ作れよ

演目の概要

下中八幡神社では、毎年3月にお田植祭を行っています。昔から地域の人々が伝承してきた祭りで、昭和47年、町の無形民俗文化財に指定されています。

お田植は、神社の南方にある森山に隣接する御神田（オセマチ）で行われ、毎年花峰小学校児童も参加しています。

下中八幡神社のお田植え祭りの特徴は、ガマオイジョウ（老人が神の化身「ガマガエル」となった姿）の社人が歌う田植え唄にあわせ、社人オイジョウがお田植舞を奉納するところにあります。

下中のお田植え唄や苗取り唄は、労働歌として昔から語り継がれてきました。昔のお田植え祭りでは、太鼓叩きの二人が唄も歌ったそうです。社人が両手に苗を持ち、唄にあわせて、手足を上下交互に動かしながら踊りました。

今年、創立140周年を迎えた「西野小学校」です。

現在、全校児童25名で、なかよく・楽しく学校生活を過ごしています。留学生も4人いて、すぐに仲間になりました。

2曲の種子島に伝わる民謡を今日は、ご披露いたします。地域の方に民謡を直接教わって、自信をもって歌えるようになりました。

こころをこめて歌いますので、最後までお聴きください。



民謡の指導風景

演目のキーワード 『こころをこめて』

中西目の福祭文（歌詞）

そうらいや候よ

祝う 福祭文じゃ候よ 祝う 何時よりも今年は

祝う 門の松が栄えた 祝う 栄えたも道理よ

祝う これの門の松には 祝う 銭花がつぼうだ

祝う 黄金花が開いた 祝う 開いたも道理よ

祝う これの殿の御家に 祝う 祝う物は何々

祝う 銭と米とを祝うよ 祝う 祝うも道理よ

祝う 四方の角ずみに 泉酒がたたえた

祝う たたえたも道理よ

祝う 白金のまげ桶に黄金の茶酌で

酌みたたえて候よ

祝う それにこそじゃ候よ

祝う 東三疊四疊には 白金の山を建て

祝う 西三疊四疊には 黄金の森を築き

祝う 富貴万福徳あるとは 冥加に叶わせ給えよ

祝う 良き豊作の年ならば 鷹・鷹らが飛び来て

祝う 鶴と亀が舞い来る

祝う 祝い込めてそう候よ

祝う 町のお祝いお込めヤレー

おっかんよう（こっちこい）（歌詞）

(一) おっかんようおまんかよ おら寝た間にも
波の引く間も 忘りゃせんど こっちこい

(二) 波の引く間も 忘れてなからか
五年このかた 抱いて寝とう こっちこい

(三) 行たて来るから 身をたいせつに
荒い風にも あわぬごと こっちこい

(四) 忘りゃせねども 月日がたてば
次第しだいに うすくなる こっちこい

(五) 雨の振る日と 日暮らしもとは
生まれ在所が 思い出す こっちこい

(六) 生まれ在所の 同志こそよかよ
かける言葉も しおらしこう こっちこい

演目の概要

福祭文（くさいもん）は正月7日に行われる、祝い行事です。各集落によって歌詞やリズムが違います。

今回歌う福祭文は、西之地区中西目のものを手本に練習しました。新年の豊作や一年の幸せを祈って元気に歌います。

「おっかんよう（こっちこい）」は夕暮れの種子島の砂浜で、お母さんや兄弟が歌った美しい子守唄です。家族の深い愛情や優しさを寄せては返す波のように表現して、心をこめて歌います。

島間地区公民館

島間小唄

講師に日高孝子さん、補助に野首久教さん、そして、島間小学校 5年生・6年生の児童の皆さんと、先生方、島間地区と各集落の婦人会長・副会長さんで構成されています。



演目のキーワード 『 種子島 第2の港町 島間 』

島間小唄 (教詞)

- | | |
|--|--|
| (一) ハア～ 島間よいとこ 入船出船
白いマストの 屋久島丸よ
サアサ 出船じゃ 汽笛が鳴るよ
汽笛は何時でも 胸にこむ | (五) ハア～ 島間名物 女の 仲仕
普恋しや なつかしや
砂糖樽かんめて ハシケに積んだ
島間女の こしのよさ |
| (二) ハア～ 島間よいとこ 名所がござる
岬八幡 二また ミツ瀬
サアサ 行きましょ 八丁浜こえて
恵比寿様のお祭りに | (六) ハア～ 屋久の 白雪 岬にせまる
こぶしが丘の 眺めのよさよ
今日も行こうか 手に手をとって
元気で仲良く 学び舎へ |
| (三) ハア～ 島間港に 汽船が来るよ
十円出すなら 汽船が出せる
元川伝吉 お客を集め
船はゴウラシ 大川丸よ | (七) ハア～ 島間港は 別れがづらい
沖にけむりが 消えるまで
またも おじゃり申せ
元気でおじゃれ
エバがとれたら ぜひおじゃれ |
| (四) ハア～ 種子泊に 貫き門ござる
あれは細切 手がらのほうび
エビもナガメも 大瀬の沖じゃ
古城のあとや 桜園 | |

演目の概要

「島間小唄」は、昭和49年、島間小学校創立100周年記念の際に、地元の船川文一さんが作詞で作られた唄です。

島間の特色が盛り込まれており、島間各地の情景を思い浮かべながらお聞きください。

豊洲会は、今年で50周年を迎えます。結成以来、「踊りの和を人の輪に」をもっとうに、荒尾を拠点に、アメリカ、ブラジルと、国内外で様々な講演を行っており、その都度炭坑節を踊り、民謡の和を広めてまいりました。

種子島での公演は初めてです。種子島のみなさまとぜひ踊りの和を広めて生きたいと思っています。



演目のキーワード 『 炭坑 労働 近代産業革命遺産 』

炭坑節・浪曲炭坑節 (歌詞)

- | | |
|---|---|
| <p>一 月が出た出た 月が出た (ヨイヨイ)
家のお山の 上に出た
あんまり煙突が高いので
さぞやお月さん 煙たかろ (サノヨイヨイ)</p> | <p>四 お札を枕に 寝るよりも (ヨイヨイ)
月が刺し込む あばら家で
主の腕に ほんのりと
私ゃ抱かれて 暮らしたい (サノヨイヨイ)</p> |
| <p>二 一山二山 三山越え (ヨイヨイ)
奥に咲いたる 八重椿
なんぼ色よく 咲いたとて
様ちゃんが通わにゃ 仇の花 (サノヨイヨイ)</p> | <p>五 竪坑千尺 二千尺 (ヨイヨイ)
下りゃ様ちゃんの ツルの音
ままになるなら あのそばの
私も握りたや 黒ダイヤ (サノヨイヨイ)</p> |
| <p>三 あなたがその気で 云うのなら (ヨイヨイ)
思い切ります 別れます
元の娘の 十八に
返してくれたら 別れます (サノヨイヨイ)</p> | |

演目の概要

炭坑節は、もともとは炭鉱労働者によって唄われた民謡で、働く姿をそのまま振りにした踊りです。

明治日本の産業革命を担い、つい先日世界遺産に登録された荒尾市の「万田坑」は、三池炭鉱の坑口のひとつで、明治から戦後まで日本の経済成長を牽引した、炭鉱施設のシンボルとなっています。

荒尾市は炭鉱により発展した街です。炭坑節のことをより知っていただきたいという思いから、今回は、「万田坑」を中心とした荒尾市の炭坑にまつわる映像や解説とともに炭坑節を踊ります。

長谷地区公民館

樟脳節

私たち、長谷地区は戦後の入植者の多い地区で、民謡が歌える人が少なく、伝承もあまりされていませんでした。

しかし、国民文化祭での出演を期に有志が集まり練習を重ねてきました。お聞き苦しいところもあるかと思いますが、どうぞお聞きください。



演目のキーワード 『抱っ込め掻っこめ』

樟脳節 (歌詞)

- 一 樟脳じゃ樟脳じゃと
げしのうぎやるな
わたしゃ殿様の げちで焚く

(チントキレ シアントキレ
コッパは前さな よめじょうは山さな
抱っ込め掻っこめ)

- 二 樟脳じゃ樟脳じゃと
げしのうぎやるな
樟脳は天下主の げちで焚く

(チントキレ シアントキレ
コッパは前さな よめじょうは山さな
抱っ込め掻っこめ)

- 三 樟脳焚かねば 租税が済まぬ
明日は処分じゃと ふれまわる

(チントキレ シアントキレ
コッパは前さな よめじょうは山さな
抱っ込め掻っこめ)

- 四 楠が絶ゆれば 樟脳焚ききゃまる
早ようふとうなれ 姫子楠

(チントキレ シアントキレ
コッパは前さな よめじょうは山さな
抱っ込め掻っこめ)

- 五 チョウナが切れぬか 力がなにか
よんべよめじょうとながばなし

(チントキレ シアントキレ
コッパは前さな よめじょうは山さな
抱っ込め掻っこめ)

演目の概要

樟脳とは、クスノキの葉や枝などのチップを水蒸気蒸留することで出来る、香り成分の結晶のことです。

防虫剤として使うほか、かつては霊薬としてリウマチ痛や打撲、ねんごなどの薬としても使われていました。

秀吉の朝鮮出兵の際に薩摩藩が連れ帰った陶工が伝えたといわれており、薩摩藩はこれで大きな利益を得ていたそうです。

唄の中でも、殿様の命で樟脳を作っていたことがうかがわれます。

西之地区は南種子町の南端に位置し、鉄砲伝来の舞台となった門倉岬がある、歴史的にもかわりの深い地域です。

郷土芸能も数多く伝承されており、今回披露します「西之本国時盆踊り」は、毎年8月16日に行われています。各集落で伝承する踊りは異なり、今回は平野集落の「つんたん拍子」を歌います。

昔は種子島の各寺で踊られていたそうですが、現在も大切に伝承している地域は少なくなっています。今後も、西之の伝承すべき芸能として踊り継いでいきたいと思います。



演目のキーワード 『 西之本国寺盆踊り 』

つんたん拍子 (歌詞 / 一部を抜粋)

(出場)

さても見事な おつずの鳥よ
下はしんじく からしまのふとん
ふとんばじょして こしょ主をのせて
様は上るか 私は今下る
ふみをやらねど ことづけしよえど
ふでにことかく すずりすみやもたん
行けば山の中 四、五軒目の茶屋に
寄りてたもれよ 必ずたのむ

(一) 此れのを お寺に参りてみれば おもしろや
さてもみごとな お寺のおぶし
四方に見えし 伊豆見れば
心は波の 田子の浦ア一
立つ波の 御夜は永けれ 夜は良けれ

(二) 阿波の徳島 十郎兵衛娘
親に会うちゆて 巡礼姿
父よ母よと尋ね行く
日に行き暮れて 野に寝たり
人の軒場で 夜を明かす
どこの宿でも 泊めてはくれぬ
幾夜幾日 尋ねても
親のおり先 知れもせぬ
さてや悲しや 泣き沈む
母のお弓に チョト会いて
さてや我子や なつかしや
抱つ抱かれつ 親子のなげき
これ程親に 慕う子を
母といわずに 別れの悲しさよ

演目の概要

西之地区平野にある本国寺では、毎年8月16日に門徒衆により盆踊りが奉納されています。昭和47年に町の無形民俗文化財に指定されており、昔から西之地区の各集落で伝承しています。

大太鼓、イレ鼓、カネ、笛などの鳴り物にあわせ、カンモク姿の踊り子が円を描いて踊ります。先祖供養の踊りなので、にぎやかさはありませんが、静かでとても奥ゆかしい唄と踊りです。

平山郷土文化保存会

ガニ舞

平山郷土文化保存会は、昭和38年に平山地区の有志により、郷土文化の伝承・記録を目的に結成されました。

「大阪万国博覧会」、文化庁主催「アジア太平洋うたとおどりの祭典」など幅広い公演を行っており、昭和59年に鹿児島県芸術文化奨励賞、平成25年に鹿児島県文化財功労者表彰を受賞するなど、県内でもその伝承活動が高く評価されています。

また、近年は毎年小学校等で郷土芸能の伝承活動を行うなど、伝統芸能の普及啓発活動にも尽力しています。



演目のキーワード 『動物(カニ)』

ガニ舞 (歌詞)

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

ガニ舞とはやされて ガニ舞をやるよって

もうひとつ囃子をもらいましょう

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

ガニなんどが夜ばみなんどと行こうよ

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

まだ日はたっかが まだ日はたっかが

うちくり返って 腹甲なんど干そうよ

あら又うちくり返って 背甲なんど干そうかい

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

あの又日も暮れた もう又日も暮れた

夜ばみなんどと行こうよ

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

カラスと言う黒鳥が

前の椽からチョチヨロチヨイと飛び降りて

コーカボコーコーカボコーガワツガワツと

ぬっから返すところに

この親つずりの親ばさまで

やっ この向きを構えた

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

もひとつ囃子をもらおうかい

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

なにかそれでもおじろうに 腰の骨にくじいて

せきの油を流した

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

もとの穴さなごそごそ

(ガニ舞はミーサイナ ガニ舞はミーサイナ)

演目の概要

国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている、座敷舞のひとつです。座敷舞は、酒宴などの席で舞われるもので、「ミーサイナ、ミーサイナ」の囃子にあわせて舞手一人が簡単な扮装をして、歌いながら物まねをするようなしぐさで、ユーモラスに踊る楽しく味わいのある舞です。中世の頃、種子島に伝わった芸能を元に種子島で作られた踊りではないかといわれています。

ガニ舞は、エサをとりに出てきたカニの所作を面白おかしく舞います。カニは夜になったらエサを食べに行こうと思っています。昼間は日光浴をして、いよいよ夜になりました。ところが、カラスがやってきて、カニをつつき始めます。甲羅をつつかれ、スグスグと穴に戻っていきました。

南種子町は、古代文化の広田遺跡から宇宙科学のロケットの町として世界的にも知名度がある町です。上中地区はその中心に位置し、町内の総世帯数・人口の約半数を占めており、行政から文化・教育・商業等の中心的地域です。

上中地域でも伝統芸能の伝承のための活動を行っており、存続が危ぶまれてきた郷土芸能「大踊り」も将来に向け保存・継承していくため、今年度は秋季大祭での奉納、ふるさと祭での披露を予定しています。

昔から種子島に歌い継がれてきた民謡はたくさんありますが、町内で最も親しまれてきた「草切節」を国民文化祭で披露したいと思います。ぜひ拝聴いただき、昔の南種子を偲んでいただきたいと思います。



演目のキーワード 『 労働・親子の情愛 』

草切節 (歌詞)

行こや行こや 草切り行こや もんば畑の みぎひだり
 4月5月に 泣く子が欲しか あげに腰かけ 乳のましよう
 親が子を思うは 千里が山の 落ちる木の葉の 数よりも
 落ちる木の葉は そらまだおろか 千里小浜の 砂の数
 人の子じゃとて にくむな嫁を 可愛い我が子も 人の嫁
 親の意見と ナスビの花は 千にひとつの 無駄がなか
 忘りやせねども 月日が経てば 何の思いも うすくなる

演目の概要

草切節は、種子島の民謡を代表する唄です。牛馬のエサとなる草を刈りながら唄った作業唄で、男女のかけあいもあり、その歌詞も様々で二千首を越える歌詞があるといわれています。

生まれてこの方、牛も馬も飼ったことなく草切りの経験ありませんが、小さい頃近所に住んでいた「おばん」が草切節じゃよと言ってよく唄ってくれました。稽古不足でうまく唄えないかもしれませんが、心を込めて唄います。

島間伝統文化保存会

バックー舞

島間伝統文化保存会は、村づくり組織「島間ふるさと祭り実行委員会」内部組織として、昭和61年に郷土文化の伝承・記録を目的として、地元有志で結成し、30を越える郷土芸能の保存伝承に努めてきました。

文化庁主催「アジア太平洋うたとおどりの祭典」や県内外の郷土芸能の数々の祭典等にも出演しており、鹿児島県優良団体として表彰を受けています。

現在は、バックー舞の保存伝承活動をはじめ、島間地区の郷土芸能を子供たちへ伝承する活動にも取り組んでいます。



演目のキーワード 『バックーどん』

バックー舞 (歌詞)

(バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 バックー舞をやるによっちえ しゃんと囃子をたもろうぞ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 もひとつ囃子をたもろうかい
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 バックー舞というものば 五月のナガシマに出ちえ来ちえ
 クロジョーなんどを 取っちえ食おうと思うちえ
 この場所に道出したあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 バックーどんの考えにや 今夜なんだあ夜もよか晩じやと思うちえ
 クロジョーもどっさりおちやーなっかと思うちえ
 この間に構えた
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 バックーどんがほうちえ行っつこつば
 案の定 ふっとかクジョーが くつと ひん香うじえ
 あの隙からも この隙からも くつと ひん香うじえ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば いつの間にか夜も更けちえ来ちえ
 バックーどんの考えにや 今夜なんだあ
 どっかその辺に窟をとらんばじやがと バックーどんが考えたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 バックーどんの考えにや
 あの玄關の敷居の下なんどが良かちやなっかと思うちえ
 その敷居の下なんどに身を構えたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば 夜中なんどになつちえ来ちえ
 跡なんどが小便しえなんどでえ起ちえ来ちえ
 バックーの横つらなんどをば ポリと蹴飛ばしたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 次の晩方になつちえ来ちえ 今夜こそ良かちこりえ
 窟をとらんばじやがと バックーどんは考えたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)

バックーどんの考えにや あの台所のしえしえなぞの
 イカダなんどの上なんどが良かちやなっかと思うちえ
 イカダの上なんどにポコリと蹴びつたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば 夜明けなんどになつちえ来ちえ 誰なんどが
 コケココロ バタバタ コケココロ バタバタと うとたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば 節なんどが起ちえ 葉じょう 早う起ちえ
 わもカライモの下なんどでも 火も入れんかいと置つたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば 葉じょうなんどが起ちえ来ちえ
 ふっとか泥ガマなんどに火を入れたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば カライモのしゅりなんどが
 グタグタグタグタグタ グタグタグタグタと たざらしたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば カライモなんども煮えたあんばあに
 ふっとか羽織のしゅりなんどば したみ出したあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そのしたみ出したあしゅりなんどが バックーの寝ちえる
 ビンタから背中なんどさな いかげられたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 ここじゃいけんと思うちえ バックーどんはその場をどし出したあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 そうそうしよつたば 誰なんどがヒヨコなんどば
 連れの一ちえ来ちえ バックーのやけじょうをどてる
 ビンタから背中なんどさな つくじー絶めたあ
 (バックー舞はミーサイナー バックー舞はミーサイナー)
 まあまー 突くじれば突くじーもんじや
 血も涙もなかもんじやと思うちえ
 バックーどんは その場にふっり返つたあ

演目の概要

国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている、座敷舞のひとつです。座敷舞は、酒宴などの席で舞われるもので、「ミーサイナ、ミーサイナ」の囃子にあわせて舞手一人が簡単な衣装をして、歌いながら物まねをするようなしぐさで、ユーモラスに踊る楽しく味わいのある舞です。中世の頃、種子島に伝わった芸能を元に種子島で作られた踊りではないかといわれています。

バックー舞は、島間地区に古くから伝わる座敷舞です。「バックー」とは種子島弁でカエルのことです。バックー舞はヒキガエルの一日の行動をユーモラスに表現しています。

荖永地区公民館

宝満神社御田植え唄・草切節・こうらい節

荖永地区は、宇宙が一番近いむらと言われ、種子島宇宙センターの玄関口であります。

荖永地区でも30年くらい前までは、いろいろな御祝いの宴席で草切節等の様々な民謡を唄い、家族で親族でそして集落で大いに楽しみながら、聞き覚えて民謡が伝承されてきました。

しかし、時代の移り変わりと共に、近年はそうした機会も少なくなり、古くから荖永に伝わる民謡の伝承が途絶えようとしています。

荖永地区公民館では、国民文化祭開催の機会を活用し、貴重な文化財である民謡を次の世代に伝承するために高齢者の方々にご指導いただきながら民謡の伝承に取り組んでおります。



演目のキーワード 『 赤米と神話の里、荖永 』

宝満神社御田植え唄 (歌詞)

イヤー 若い娘よ 若い娘

イヤー 髪を撫ぶる若い娘

イヤー 撫づればの若い娘

イヤー 品良かれ若い娘

イヤー 品も品により候

イヤー 吉野の山の品三ぞう

イヤー ここはなしか坪い田

イヤー えーも作らじの坪い田

イヤー 坪の神よ 坪の神

イヤー 助けて給れよ 坪の神

草切節・荖永風情 (歌詞)

名所名勝 荖永名勝

岩の狭間につつじ咲く

花の荖永 昔を問えば

神の聞きし 米の里

種子の荖永 懐かしどころ

生まれ在所で 米どころ

松の青さよ つつじの紅さ

わしが荖永 花の里

岩にゃ懸松 狭間にゃつつじ

ここは荖永 種子名勝

荖を屏風に 青田のたたみ

ひとめ万両の 千疊敷き

こうらい節 (歌詞)

二度とおじゃるな 赤尾木の女下

柿を なあこうらい

枕に こうらよ 庭の隅よ

それもそうじゃよ ほんにそうじゃよ

演目の概要

「宝満神社御田植え唄」は、宝満神社に門外不出として伝わる古代米・赤米を、“おせまち”と呼ばれる御神田に田植えする時に唄われます。歌詞は30番くらいまであります。なお、宝満神社のお田植祭りは、鹿児島県無形民俗文化財に指定されています。

「草切節」は、種子島の民謡を代表する唄です。牛馬のエサとなる草を刈りながら唄った作業唄で、男女のかけあいもあり、その歌詞も様々で二千首を超える歌詞があるといわれています。今回、荖永地区公民館が披露する草切節は、荖永出身で種子島民俗研究の先覚者ともいわれている古市春彦氏が荖永の景観等を情緒豊かに歌い上げた「荖永風情」であります。

特別出演者

高千穂民謡保存会(宮崎県高千穂町)

正調刈干切唄

「刈干切唄」は、冬の間の家畜の貯蔵飼料となる野草を大鎌で刈る際に歌われていた労働歌で、毎年10月上旬に「正調刈干切唄全国大会」を開催しており、毎年全国から多くの愛好家が集い、競演します。高千穂民謡保存会は、昭和30年代初頭に発足し、唄の成り立ちや歴史を含め、「刈干切唄」を保存伝承するため日々活動しています。



演目のキーワード 『 居場所 』

刈干切唄(歌詞)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ㄟ ここの山の刈干しやすんだヨー
明日はたんぼで稲刈るかよ | ㄟ 秋もすんだよ田のくろ野道をヨー
あれも嫁じゃろ灯が五つよ |
| ㄟ 屋根は壺ぶき壺壁なれどヨー
むかしながらの 千木を置くよ | ㄟ 高い山山どの山見てもヨー
霧のかからぬ山はないよ |
| ㄟ も早や日暮れじゃ追追かけるヨー
胸よいぬるぞまぐさ負えよ | ㄟ 誰に見らりよとおもうて咲いたヨー
谷間谷間の岩つつじよ |

演目の概要

刈干切りは、冬期の家畜の貯蔵飼料となる野草を大鎌で刈る作業です。刈った草は束ねて「とうび」を作り草場に置かれます。これらの作業は急斜面の草場で行われることも多く、大変な重労働でした。

「刈干切唄」は、秋に行われるこの作業の際に、労働歌として歌われてきました。今のような多様な娯楽がなかった時代、人々は作業のつらさや疲れを紛らわすためこの唄を歌い、時には谷を挟んで刈干切りをする人とこの唄で掛け合いをし、競うように歌いながら作業をしたと言われています。

情景が目浮かんでくるような歌詞と、どこか哀調を帯びたメロディーの「刈干切唄」は、高千穂町に住むひと、そして、遠くにあつて故郷・高千穂を想う人々にとっての宝。大切に守り続け、後世に残したい唄です。



とうび

11月3日(火) 会場:総合グラウンド(南種子町営陸上競技場)

10:30	オープニング	コールさんだんか
	{・タイムカプセル ・花	南種子町立南種子中学校吹奏楽部 南種子町立中平小学校金管バンド
10:45	開会のあいさつ	
10:50	備中神楽 <small>まきのおの せんと やまな せいら</small> 葉茂鳴の命の八岐の大蛇退治	総社社中
11:20	肥後米音頭	日本民踊研究会熊本県荒尾豊洲会
11:30	鳥刺舞	平山郷土文化保存会
11:40	宝満神楽御田植舞	宝満神楽保存会
12:20	トークショー	相川 七瀬
12:50	フィナーレ ・ヒカリノミ	南種子町立莚南小学校
13:00	閉会のあいさつ	

ステージニング

今回、国民文化祭のオープニングを務めるにあたり、南種子町のママさんコーラス、コールさんだんか、南種子町立南種子中学校吹奏楽部、南種子町立中平小学校金管バンドが合同公演することになりました。



【コールさんだんか】



【南種子町立中平小学校金管バンド】



【南種子町立南種子中学校吹奏楽部】

～第30回国民文化祭・かごしま2015 イメージソング～

タイムカプセル (歌詞)

作詞・作曲 タツヒロ

僕らは未来に 何が残せるのだろうか
何を残せば 生きた証なのかな

僕らのつむぎだす 情熱が
誰かの明日を 変えるかもしれないから

感じるままに まっすぐに
ありのまま 解き放つ この心
あふれる思い つめ込んで
未来まで つなげよう 僕らの タイムカプセル

悩んで学んで 積み重ねた日々が
新しい自分を 見つけだしてくれる

僕らのつむぎだす 自由が
南風によって 故郷へ届くように

感じるままに まっすぐに
ありのまま 解き放つ この心
あふれる思い つめ込んで
未来まで つなげよう 僕らの タイムカプセル

不安を抱えた時 答えに悩んだ時
見つめてごらん 足元を
見上げてごらん 青空を

感じるままに まっすぐに
ありのまま 解き放つ この心
あふれる思い つめ込んで
未来まで つなげよう 僕らの タイムカプセル

花は咲く (歌詞)

作詞 岩井俊二 作曲 菅野よう子

真っ白な 雷道に 春風香る
私は懐かしい あの街を思い出す
叶えたい夢もあった 変りたい自分もいた
いまはただなつかしい あの人を思い出す

誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

夜空の向こうの 朝の気配に
私は懐かしい あの日々を思い出す
傷ついて 傷つけて 報われず 泣いたりして
今はただ 愛おしい あの人を思い出す

誰かの想いが見える 誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために

ムーブメント

今回、国民文化祭のオープニングを務めるにあたり、南種子町のママさんコーラス、コールさんだんか、南種子町立南種子中学校吹奏楽部、南種子町立中平小学校金管バンドが合同公演することになりました。



【コールさんだんか】



【南種子町立中平小学校金管バンド】



【南種子町立南種子中学校吹奏楽部】

～第30回国民文化祭・かごしま2015 イメージソング～

タイムカプセル (歌詞)

作詞・作曲 タツヒロ

僕は未来に 何が残せるのだろう
何を残せば 生きた証なのかな

僕らのつむぎだす 情熱が
誰かの明日を 変えるかもしれないから

感じるままに まっすぐに
ありのまま 解き放つ この心
あふれる思い つめ込んで
未来まで つなげよう 僕らの タイムカプセル

悩んで学んで 積み重ねた日々が
新しい自分を 見つけたしてくれる

僕らのつむぎだす 自由が
南風によって 故郷へ届くように

感じるままに まっすぐに
ありのまま 解き放つ この心
あふれる思い つめ込んで
未来まで つなげよう 僕らの タイムカプセル

不安を抱えた時 答えに悩んだ時
見つめてごらん 足元を
見上げてごらん 青空を

感じるままに まっすぐに
ありのまま 解き放つ この心
あふれる思い つめ込んで
未来まで つなげよう 僕らの タイムカプセル

花は咲く (歌詞)

作詞 岩井俊二 作曲 菅野よう子

真っ白な 雷道に 春風香る
私は懐かしい あの街を思い出す
叶えたい夢もあった 変わりたい自分もいた
いまはただなつかしい あの人を思い出す

誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

夜空の向こうの 朝の気配に
私は懐かしい あの日々を思い出す
俯ついで 俯ついで 頼れず 泣いたりして
今はただ 愛おしい あの人を思い出す

誰かの想いが見える 誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く 私は何を残しただろう

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために

豊洲会は、今年で50周年を迎えます。結成以来、「踊りの和を人の輪に」をもっとうに、荒尾を拠点に、アメリカ、ブラジルと、国内外で様々な講演を行っており、その都度炭坑節を踊り、民謡の和を広めてまいりました。

種子島での公演は初めてです。種子島のみなさまとぜひ踊りの和を広めて生きたいと思っています。



演目のキーワード 『 田植え 神事 五穀豊穡 』

肥後米音頭 (歌詞)

(一) ハー 肥後のナ

肥後のお米は ご存知の
熊本生れの 器量よし
ホンナコツバイ 味もよし
花よ蝶よと育てられ
わたしゃうれしい餅の肌
さん〜と輝く 粒ぞろい
ホンナコツバイ 日本一

(お囃)

万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ
万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ
万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ

(二) ハー 風もナ

風もないのに 稲穂波
そよゆらりと ゆれとるバイ
ホンナコツバイ 花盛り
肥後のお米と若者は
なんさま稔ってねばりよし
さん〜と輝く 粒ぞろい
ホンナコツバイ 日本一

(お囃)

万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ
万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ
万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ

(三) ハー 米はナ

米という字は 八十八よ
おまえ百まで このおれは
ホンナコツバイ 九十九まで
ともに白髪のはえるまで
肥後のお米の世話になる
さん〜と輝く 粒ぞろい
ホンナコツバイ 日本一

(お囃)

万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ
万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ
万作じゃ 万作じゃ
豊年満作 肥後米じゃ

演目の概要

熊本県は、鹿児島県と同様、全国有数の農業県です。熊本県の米は「肥後米」として、幕末から大阪市場で高い評価を受けており、近年では「森のくまさん」が2012年度「食味ランキング」で一位となるなど、おいしい米所として注目を浴びています。

そうした馴染みの深い米作りの動作を、豊洲会で振り付けし盆踊りにしました。同じく米所である種子島の皆様に、ぜひ見ていただきたいと思います。

平山郷土文化保存会は、昭和38年に平山地区の有志により、郷土文化の伝承・記録を目的に結成されました。

「大阪万国博覧会」、文化庁主催「アジア太平洋うたとおどりの祭典」など幅広い公演を行っており、昭和59年に鹿児島県芸術文化奨励賞、平成25年に鹿児島県文化財功労者表彰を受賞するなど、県内でもその伝承活動が高く評価されています。

また、近年は毎年小学校等で郷土芸能の伝承活動を行うなど、伝統芸能の普及啓発活動にも尽力しています。



演目のキーワード 『 自然 』

鳥刺舞 (歌詞)

(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
鳥刺舞とはやされて 鳥刺舞をやるよっちえ
まだ準備がすまん
もひとつ囃子をもらいましょう
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
今日は正月二日 二日の日はようこうちえ
三日の日なんだあ鳥刺なんでえ行こうよ
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
もひとつ囃子をもらいましょう
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
上の小山の野っ原を歩けーば さるけーば
鳩が一羽 クアトッルルー クアトッルルーと
ぬっから返すとこれえ この鳥刺が耳に入っちえ
刺そうばいかと思うちえ おいども子供もどうめく
あのよかところの ムクロ羽根をくりょうず
この鳥刺にヤマモチょうば べったりこうに
ぬっつけちえ ヤツ この向きに構えた
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)

じーっと刺しておとつちえ こまか鳥のことなれば
左のたもとにバタバタ
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
もひとつ囃子をもらいましょう
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
あのまた上の小山の野っ原を歩けーば さるけーば
ケンケン鳥が一羽 ケンケン クルル ケンケン
ケンケンバタバタ ケンケンバタバタと
ぬっから返すとこれえ この鳥刺が耳に入っちえ
刺そうばいかと思うちえ おいども子供もどうめく
あのよかところの 矢はぎ羽根なんろくりょうぞ
ヤマモチょうば べったりこうとぬっつけちえ
ヤツ この向きに構えた
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
もひとつ囃子をもらいましょう
(鳥刺舞はミーサイナ 鳥刺舞はミーサイナ)
じーっと刺しておとつちえ ふっとか鳥のことなれば
顔の纒にバタバタ ケンケンバタバタインタンタン

演目の概要

国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている、座敷舞のひとつです。座敷舞は、酒宴などの席で舞われるもので、「ミーサイナ、ミーサイナ」の囃子にあわせて舞手一人が簡単な扮装をして、歌いながら物まねをするようなしぐさで、ユーモラスに踊る楽しく味わいのある舞です。中世の頃、種子島に伝わった芸能を元に種子島で作られた踊りではないかといわれています。

鳥刺舞は、正月に竿にトリモチをつけて鳥をとる所作を面白おかしく表しています。まずは鳩を捕り、続いてキジを狙います。キジは大きな鳥なので、縄でしるがバタバタとあばれて…。

葦永宝満神楽保存会

宝満神楽 (御田植舞)

「宝満神楽を創る会」として平成11年に結成し、後「葦永宝満神楽保存会」に名称を変更しました。

今回イベントで公演して下さる備中神楽を伝承する社中のひとつ、「総社社中」の神楽師、故横田博志氏に指導を受け、「玉依姫命の舞」や御田植舞など、オリジナルの演目も加え、宝満神社への神楽の奉納を行うほか、地区行事の際などに神楽を披露し、葦永地区の活性化を図っています。



演目のキーワード 『 赤米御田植舞 』

宝満神社赤米お田植え歌 (歌詞)

- (一) イヤ 若い娘よ若い娘 イヤ 髪をなづる若い娘
 イヤ なづればの若い娘 イヤ 品よけれ若い娘
 イヤ 品にも品により候 イヤ 吉野の山の品三ぞう
- (二) イヤ ここはなしか坪田 イヤ えー作らじの坪田
 イヤ 坪の神よ坪の神 イヤ 助けて給れよ坪の神
 イヤ 助けて給らぬことなれば イヤ 秋を待って穂を拾うて
 イヤ 良か穂の種子など イヤ 摺ったりもんだり種子にしよう
- (三) イヤ 籾を五合蒔いたれば イヤ 籾は五石五合よ
 イヤ あらもと摺りまでしたほどに イヤ 一石八斗に摺りなした

演目の概要

平成17年に「種子島宝満神社のお田植祭」をアレンジし、「御田植舞」の神楽を創作しました。結成当初から指導いただいた故横田氏を葦永に招き創作した、種子島宝満神社オリジナルの神楽です。「御田植舞」は、お田植え祭りで苗を植える様子を表しており、また、馬で田を耕すホイトウなどの葦永の昔の農耕の様子も神楽で表現しています。

相川七瀬

歌手

南種子町トンミー大使

1995年「夢見る少女じゃいられない」でデビュー。
1996年発売したファーストアルバム「Red」は
オリコンアルバムチャート初登場一位。280万枚を
越す、ダブル・ミリオンヒットを記録。年末には第
47回NHK紅白歌合戦に初出場。

以後、数々のシングル・アルバムを発表し、日本だ
けでなく海外でのライブも数多く行っています。

今年11月8日でデビュー20周年を迎える。

8月には記念シングル「満月にSHOUT!」を発売。
10月には織田哲郎作曲のカバーアルバム「Treasure
Box -Tetsuro Oda Songs-」を発売。

音楽活動以外にも絵本の出版や小説「ダリア」を出筆。また、日本の聖地の旅エッセイ「神結び」「縁結び」そ
して今年9月に第三弾「太陽と月の結び」出版。古代米・赤米とその伝承活動に高い関心を持ち、南種子町を含む
伝承地域との交流が始まり、「赤米伝統文化交流」を締結する橋渡しとなりました。



宝満神社の赤米について



昔から神社に伝えられているとされる古代米で、毎
年4月3日に行われる、県指定無形文化財「宝満神社
のお田植祭」で稲を植え、9月中旬～10月上旬に稲
刈りを行います。

宝満神社の祭神、玉依姫に奉納する神聖な米で、門
外不出とし、葦永地域の人々が大切に守り伝えてきま
した。

対馬や総社の赤米が日本で一般的なジャパニカとい
う種類でモミが丸く短いのに対し、葦永宝満神社の赤
米はジャパニカという種類に近く、若干細長いモミを
突らせませす。そのため、東南アジアから北上する海
の道を経てもたらされたとする、南方からの文化の伝播
を証明する貴重な資料として、注目されています。

《宝満神社の赤米の特徴》

- ・茎が長く170cmほどになる。
- ・ノギ(ヒゲ)が長く、赤くない
- ・ジャパニカという南方系の種類に近い
- ・モミが細長い
- ・水稲と陸稲両方の性格を兼ね備えている

赤米伝統文化交流について



平成26年3月1日「赤米伝統文化協定」締結

古代米・赤米を伝承してきた岡山県総社市、長崎
県対馬市、南種子町の2市1町は、対馬市で赤米を
通じ文化伝承や地域間交流に取り組んでいく、「赤米
伝統文化協定」を締結しました。

平成26年10月5日「赤米サミット2014 hくきなが」

たねがしま赤米館で開催されました。赤米伝統文
化交流協定の締結を受け、各市町の赤米保存団体が、
伝承活動の情報交換などについて、次の世代への赤
米文化伝承の充実を図ることを目的に意見交換を行
いました。

平成27年6月15日「赤米サミットIN新本」

総社市で開催され、赤米伝統文化連絡協議会を設立
し、「3地域に連綿と続く貴重な赤米文化を内外に伝
えていくため、力を合わせ日本遺産としての認定を
目指す」宣言書に署名を行いました。

南種子町立荃南小学校

ヒカリノミ

南種子町立荃南小学校は、1年生5名、2年生4名、4年生2名、5年生8名、6年生9名計28名の子どもたちが学ぶ学校です。28名中9名は宇宙留学生で、遠くは岩手県を始め、東京や神奈川など全国から留学生を受け入れています。特色ある活動として、赤米の里の伝統を受け継ぐ地域を校区にもち、宝満神社の神事である赤米のお田植え祭りや稲刈りに参加しています。今年も、4月3日に田植えを、10月4日に稲刈りと脱穀を済ませました。他にも、地域の伝統芸能である「ひょうたん踊り」「棒踊り」の継承と発表、ウミガメの放流、JAXAのロケット打上げに関連した活動への参加など、古代と未来という両極端なテーマへの挑戦を続ける学校でもあります。



演目のキーワード 『 古代から宇宙へ ～心一つに～ 』

ヒカリノミ (歌詞)

言葉は種となり大地に落ち
やがて根を張り芽を出し葉をつけ
宇宙の星のように
あおうえいあ・・・
ヒカリノミをつけるでしょう

言葉は風となり音を運び
夢の種になって息づいて
愛となり世界となり
あおうえいあ・・・
ヒカリノミをつけるでしょう

みんなみんなひとりじゃないよ
いつもいつも忘れないでいて
みんなみんなつながっているよ
互いに照らし合う星みたいに
この手と手をつなぎましょう

心から言葉を与えましょう
ためらうこともなく分け惜しみなく
響きは自らへと
あおうえいあ・・・
ヒカリノミをつけるでしょう

みんなみんな自分をどこかで
きつときつと信じているから
みんなみんながんばってるから
微笑み合う瞳 強くなれる
誰もひとりじゃ生きられない

あおうえいあ あおうえいあ あおうえいあ
あおうえいあ あおうえいあ あおうえいあ あいのおと

みんなみんなひとりじゃないよ
いつもいつも忘れないでいて
みんなみんなつながっているよ
互いに照らし合う星みたいに

みんなみんな愛から生まれた
だからだから愛を探すんだ
みんなみんな愛のかけらで
どんな時もいつも支え合える
この手と手をつなぎましょう

演目の概要

「ヒカリノミ」は赤米大使として活動している相川さんが作詞した歌です。岡山県総社市、長崎県対馬市、鹿児島県南種子町の赤米神事の応援ソングとしても使われています。「孤独を感じてしまう瞬間は、みんなそれぞれあるけれど、みんな誰かとながつながっていて、誰かの愛に触れて、頑張れたり、優しくなれたりしている」という「一人一人が誰かの光る存在」をテーマにした歌です。



南種子町観光 MAP

広田遺跡や鉄道伝来などの歴史や、世界一美しいとも言われるロケット発射場などが有名な南種子町。周りを豊かな自然に囲まれたこの町では、サーフィンやシーカヤックなどアウトドアスポーツもお楽しみいただけます。

島間岬

島間

★自然の家

長谷

種子島
マングローブ
パーク

★長谷展望公園

平山

千座の岩屋
浜田
海水浴場

西之町

西海

上野

上中

南種子町役場

トシミー市場

広田遺跡
★広田遺跡
ミュージアム

★宇宙ヶ丘公園

大崎射場
吉信岬

莖永

西之

下中

たねがしま赤米館★

竹崎射場

宝満の池

七色坂展望所★

※ 赤枠で囲まれた範囲が
国文祭会場 MAP の範囲になります。

※ 広田遺跡ミュージアムでも国文祭事業
『黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展
～広田遺跡からロケットへ～』を開催中です。

門倉岬



【門倉岬】



【種子島マングローブパーク】



【種子島宇宙センター】

この先にあるのは
未来という時間

先史より黒潮の恩恵を受けてきた南種子町
豊かな自然に囲まれた大らかな土地柄は
鉄砲伝来という革命を日本にもたらし
現在遥か宇宙をも身近に暮らしています

宇宙と歴史の Hot line

南種子町

過去と未来が繋がるまち 南種子町へようこそ



黒潮が育んだ古代文化と宇宙芸術展

2015 10/31(土)~11/15(日) 【会場】 広田遺跡ミュージアム

※期間中の土、日、祝日は、南種子町立第一公民館ミュージアム〜宇宙科学館区間をシャトルバスが運行します。

種子島歌い継がれた民謡と踊りの祭典 2015 11/2(日)・11/3(月)

観光のお問い合わせは
南種子町観光課

〒891-3701 鹿児島県熊毛郡南種子町中之上 2793-1

TEL (0997) 26 - 1111

<http://town.minamitane.kagoshima.jp>



歴史跡
広田遺跡





ひつとべ!
かごしま国文祭
第30回 国民文化祭
平成27年10月31日(土)～11月15日(日)